

まつて行くものである。

○動植物に手や足があつたり物を言うたりする様
は大人が話す幼兒はそれを眞に受ける、それら
の生物にも心ありとして考へる。といふ事は随分
をかしい事ではあるが、併し幼兒にはまづこうい
ふ方面から入れてよいので、何にもせよ自然に對
する愛を養うてさへ置けば、之が萌芽となつて段
々自然を尊敬し且つ之と親しむ様になつて來る。
○自然を愛するといふ事を一の仕事の様に思はせ
てはならぬ。幼兒として自然といふ空氣の中に在
らしめ自ら之を親愛する様に仕向ける事が必要な
ので、故意に注入する強ひるといふ風では却つて
よろしくなす。

讀書の棗

露國 日本 魂 雄 樋口勘次郎著

日本魂雄といふ男の子が、明治八年樺太千島交換
の頃陸中の南部で生れて、小學校を卒業して、大津
の中學に學び更に士官學校を卒業して、立派な軍
人になつて、遂に今回の戦争に出て、所々の戦役
に參加するといふ仕組にして、其間に今度の日露
の戦争の由來、樺太交換から、大津事件、遼東半
島還附等のことを、魂雄が、或は學校の先生に學
んだり或は自分で見聞したりした様に書き下して
さて、本題に這入つてからは、直接自ら戦争に
たづさわつた様に書き下して、陸軍海軍等一切の
出來事を面白く報導して居る、其間には、廣瀬中佐

も出て来れば、マカロフ中將も顯はれる、彼我の
勇將猛士の寫眞も鮮明に顯はされる。中には魂雄
君や其他の名士の軍歌が曲譜附きで出て来る、戦
争の談になると、細かな地圖で兩軍の形勢を指示
する、といふ具合、すべて魂雄君の自叙傳にして、
子供に今度の戦争を知らせる爲に分り易く讀ませ
様といふ仕組で、まことに結構に出来て居る、紙
數は百八十四頁代價は四十錢これで以て、日露戦
争の由來から奉天大會戰に至るまで順序正しく面
白く分るのであるから時節柄送り物なぞには面白
からう。

會 報

第十總會 先月廿一日(金曜日)フレーベル氏誕生
の日を以て本會第十總會を附屬幼稚園に開きたり

開會に先たつて、來會せられたる會員も非常に多
く、やがて一時半開會を報ずるや、場内殆んど立
錐の地なきまでの盛會にて、實に二百數十名を數
ふるに至りたり。

始に高嶺會長は立ちて、開會の辭と併せて將來の
希望にて演述せられ(本號掲載)次に松本文學士
の保育上兒童の個性に關する注意に付きて詳述
せられ、(次號掲載)夫より會務の報告に移り、次
きて中村主幹は「フレーベル氏の最初の學校に付
きて」といふ題にて、其當時の状況を述べられ、
終に會員東基吉君は「フレーベル先生の臨終」
と題して、先生の臨終當時の有様を朗讀せられた
り。

之にて一段落となり、次に下令嬢の巧妙なる琴曲
の調あり、會員の唱歌合唱(隱岐の院、花)あり、